

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	奥津川ラビンの里
(2) 指定管理者	所在地 津山市奥津川867番地 名称 ラビンの里管理組合 代表者 組合長 森永 宏彰
(3) 公の施設の所管部署	農林部 農村整備課
(4) 指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
(5) 評価対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト 利用人数 303人 (前年度 346人) 宿泊施設 利用人数 82人 (前年度 162人) ハーベキューガーデン 利用人数 458人 (前年度 897人)
(2) 事業の内容	ラビンの里の施設利用許可・運営・管理

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総 額 4,582千円 (前年度 5,095千円) 利用料金収入 406千円 指定管理料 4,160千円 自主事業収入 16千円 その他の収入 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総 額 4,582千円 (前年度 5,095千円) 人件費 2,588千円 光熱水費 491千円 修繕・消耗品費等 490千円 委託料 938千円 その他 75千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	○ 利用者にアンケート用紙を渡して、評価・感想などを記入してもらっている。
(2) 指定管理者の自己評価	○ コロナウイルス感染予防対策の影響で施設を休止した影響で利用者 と売上げは減少。その他の月も利用者数に影響が出ている。 ○ 利用者が天候に左右されやすく、雨天の場合のキャンセルが多い。 ○ 施設の老朽化が目立ってきており、計画的に修繕を努めている。 ○ イノシシ・シカ・サルが出没し、対策に苦慮している。特にシカの糞の 被害が大変酷く、施設内の糞の片付けに時間を要し、営業に支障を きたしている。
(3) 市の評価	○ 社会情勢に鑑み利用件数、利用者数は昨年より減少している。 ○ 宿泊件数・宿泊者数について、宿泊施設は昨年より減少しているが、 利用者のニーズに合わせた積極的なPR活動を講じられたい。 ○ 施設の老朽化が進行するなか、自主的に経費を節減しながら修繕等 を行っている。今後も継続的な努力に期待する。 ○ シカ等の被害については、管理者のきめ細やかな対応により、利用者 からの苦情はないが、これらの侵入を根本的に防ぐ方法を研究する必 要がある。